



地域おこし協力隊「ちおこ」って？

都市部から地方に移住し、地域の魅力づくりや課題解決に取り組み、定住を図ります。町の委嘱を受け、任期は1年から3年。地域の良さを「見つけ」「磨き」「伝える」ために全国から来てくれた心強い存在です。

「ちおこ」活動報告会

1月22日(木)・2月19日(木)、おしゃっちで開催された「ちおこ」による活動報告会。地域の皆さんに普段の取り組みを紹介しました。熊対策・ジビエ事業・サーモン養殖・林業・不登校支援などさまざまな分野で活躍している隊員たち。会場には多くの人が訪れ、「ちおこ」の報告に興味深く耳を傾けていました。

「ちおこ」懇親会

2月6日(金)、隊員同士の親睦を深めることを目的に、おしゃっち



卒業する福島さん(左)、アリウングレルさん(右)

で懇親会が開催されました。現在「ちおこ」は13人。普段はなかなか会えない他の隊員と活動を共有しながら、交流しました。また懇親会の中で、3月で卒業する2人の卒業式が行われ、新しい門出にエールを送りました。



バトゲレル アリウングレルさん
愛称 アリーさん
モンゴル出身(堤福祉会)

故郷のモンゴルには海がなく、初めて吉里吉里の青い海を目にしたとき、とても感動したことを今でも覚えています。これまでの経験から、他の外国人実習生が動きやすい雰囲気づくりを大切にして活動してきました。「ちおこ」として、このような貴重な経験をさせてもらったことに感謝しています。



ふくしまよしき
福島良樹さん
山形県出身(産業振興課)

学生時代に実習で大槌町を訪れ、その後ご縁があり「ちおこ」として活動させていただきました。3年が経ちましたが、ずっと大槌町にいたかのような非常に充実した時間を過ごしました。不安な気持ちでいっぱいだった3年前の自分に「楽しくやってるぞ」と声を掛けてあげたいです。

東大生による大学生体験

地域の取り組みなどを研究する「東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム」。大槌チームの東大生4人は、本年度から訪問を重ね、町の教育や地域を学んできました。この度プログラムの成果として、つみテラスと吉里吉里学園小学部を訪れ、子どもたちに特別授業を行いました。

2月12日(木)

大学生の一日を学ぶ「つみテラス」

大学の授業の様子やサークル活動、休日の過ごし方など、大学生の一日を教えるもらいました。

2月13日(金)

「気持ちについて考えてみよう」吉里吉里学園小学部

子どもたちが、それぞれ1日の気持ちの変化をグラフにして発表しました。友達との共通点や違いなど、新たな「気持ち」につながりました。

大槌の子どもたちは初対面でも明るく話し掛けてくれました。素直でとても素敵です。

地域の人たちがとても温かく、自然と「ただいま」と言ってしまう場所になりました。



左から 中村光哉さん(化学2年)、坂尾蒔白さん(哲学2年)、ジャンさん(教育学4年)、安田百合香さん(医学3年)



大槌町食生活改善推進団体に栄誉
受賞者に表彰状を伝達

2月2日(月)、大槌町食生活改善推進員団体連絡協議会新年研修会で、岩手県公衆衛生功労者知事表彰と岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会会長表彰の伝達授与式が行われました。

受賞者代表あいさつを務めた佐々木トワさんは、「この度の受賞はここにいる皆さまのおかげです。これからも皆さまと共に活動を続けていきたいです」と感謝の思いを述べました。

岩手県公衆衛生功労者知事表彰

ささき トワさん(写真右から2番目)

平成13年の入会から25年にわたり、町の生活習慣病予防や食育活動に取り組みました。また平成14年度から平成21年まで、大槌町食生活改善推進員団体連絡協議会の地区理事を務め、「お茶っこの会」の運営など、高齢者に食の楽しみを感じてもらおうよう地域活動に尽力しました。

岩手県食生活改善推進員団体
連絡協議会会長表彰

ささき せいこ
佐々木 成子さん(写真左から2番目)

平成21年の入会から16年間、町の生活習慣病予防や食育活動に取り組み、令和4年度からは大槌町食生活改善推進員団体連絡協議会の会長に就任。「骨太クッキング教室」「地区伝達料理教室」などの食生活改善活動に尽力しました。

